

世の中で一番汚いのは欲である。

……「天地は語る」第七十九条……

解説

ここで金光大神様が、一番汚いと言われる「欲」とは、「自分さえ良かったらいい。人のことは知らぬ。」との「我欲」であります。「自分さえ良かったら」という、人のことを考えぬ、自分中心の「我欲」を出せば、人を苦しめ、又、自身も困ることになります。この「我欲」が集団化し国家レベルとなった時の、悲惨と破壊の絶望的な末路は歴史が証明しており、しかも、その負の遺産は世紀を超えて今なお私たち人類を苦しめ続けています。即ち、近藤藤守先生が「欲を捨てること」についてお尋ね申した時の金光大神様のお言葉、「私にも欲がある。世界の人を助けたい欲がある。」との御思いこそ、私たちに切望された天地金乃神様 金光大神様の悲願であります。